



取扱説明書

Hiro Garden4

ヒロガーデン®4



東都園業株式会社

園芸事業部

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-6-1

電話: 03-3566-0237

https://www.toto-vp.com/engei/

この度は、ヒロガーデンをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ヒロガーデンを組み立てる前や組み立て中は本書をお読みいただき、完成後も
大切に保管されるようお願いいたします。

※組み立て作業は必ず2人以上で行ってください。

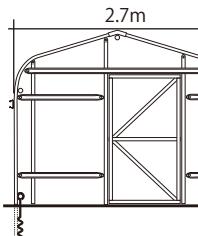
組み立ての
動画はコチラ

完成図

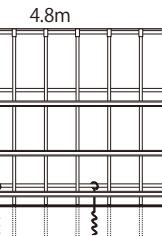
このハウスは間口 2.7m、奥行き 4.8m になります。
設置する地面を平らにならしておきます。



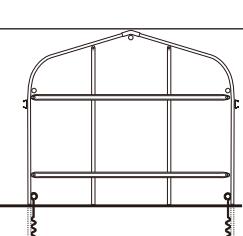
正面 (ドア面)



側面



裏面



おおまかな手順

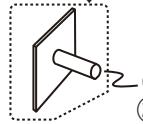
- ①パイプを差す位置に下穴をあけます。
- ②パイプを差し込み、アーチパイプを組みます。
- ③奥行きに直管パイプとフィルム止めビニペットEXを取り付けます。
- ④正面、裏面のパイプを組み立て、フィルム止めビニペットEXを取り付けます。
- ⑤フィルムを横→屋根の順に張ります。
- ⑥ドアを取り付けます。(組み立て・フィルム展張)

部材一覧

(パイプ)

- ①アーチタテパイプ $\phi 22 \times 1,730$: 18 本
 ②ツマ面タテパイプ $\phi 22 \times 1,330$: 5 本
 ③ツマ面表タテパイプ $\phi 22 \times 1,310$: 1 本
 ④ツマ面表タテパイプ $\phi 22 \times 1,070$: 1 本
 ⑤ツマ面表タテパイプ $\phi 22 \times 1,030$: 1 本
 ⑥ツマ面裏タテパイプ $\phi 22 \times$ 裏 $1,190$: 2 本
 ⑦奥行きパイプスエジ $\phi 22 \times 1,810$: 10 本
 ⑧奥行きパイプ中間 $\phi 22 \times 1,255$: 5 本
 ⑨アーチパイプ $\phi 22 \times 1,800$: 18 本

パイプの変形を防ぐパーツです。
への字パイプ②と一緒に
梱包されています。↓



⑩先行穴開けパイプ $\phi 25 \times 900$: 1 本

(フィルム止めビニペット EX)

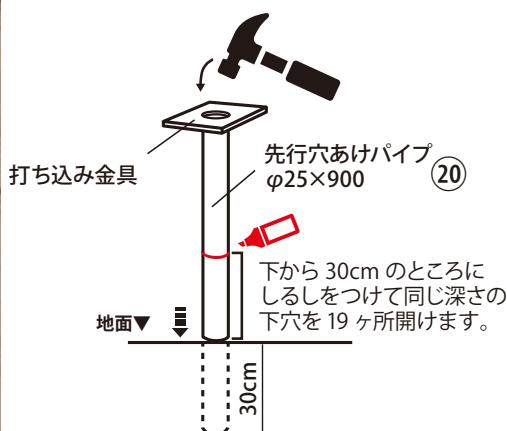
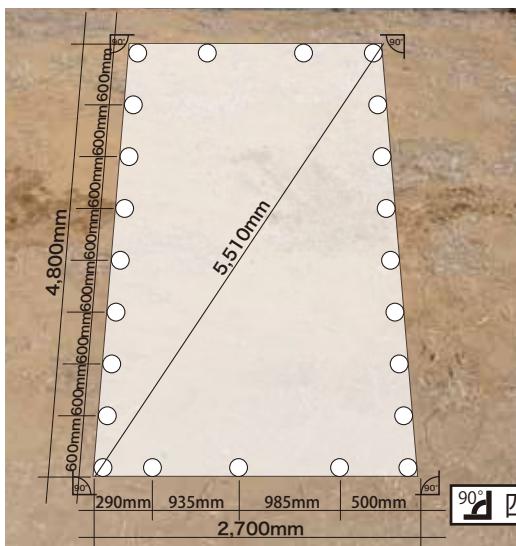
- ⑪奥行き中間用 985 : 6 本 側面タテ部 985 : 4 本
 ⑫奥行き用 1,880 : 12 本 ツマ面表ヨコ桟(ドア上)1,880 : 1 本
 ⑬ツマ面裏ヨコ桟上 1,292 : 2 本
 ⑭ツマ面裏ヨコ桟下 1,315 : 2 本
 ⑮ツマ面表ヨコ桟(ドア横上)1,440 : 1 本 ⑯ツマ面表ヨコ桟(ドア横下)1,450 : 1 本
 ⑰ツマ面表ヨコ桟(ドア横上)1,150 : 1 本
 ⑱ツマ面表ヨコ桟(ドア横下)1,180 : 1 本
 ⑲ツマ面表(ドア上)620 : 1 本
 ⑳ツマ面表タテパイプ添わせ用 1,700 : 2 本

㉑隙間防止パイプ $\phi 22 \times 930$: 1 本

㉒外ジョイント	㉓平行パイプジョイント	㉔カチックス	㉕への字パイプ	㉖ユニバーサルジョイント	㉗パイプバンド	㉘ヒフクパイプバンド	㉙ヒロパイプジョイント
15 個 Φ22 用	12 個 Φ22×22 用	14 個 Φ22 用	9 個 Φ22 用	Φ25 用 2 個 Φ22 用 39 個	Φ22×Φ22 用 14 個	Φ22×Φ25 用 7 個	Φ22 用 46 個
㉚ドアパイプジョイント	㉛平行パイプジョイント	㉜カンキットパイプジョイント (ネジ式)	㉝ヒフクスプリング	㉞らせん杭	㉟パッカー	㉟フィルム一式	㉞MEスライドドア
3 個 Φ22 用	2 個 Φ19-25 用	5 個 Φ22 用	40 本 2m	620mm 4 個	Φ22mm 2 個	全 7 種	P6~9

1 アーチタテパイプを設置します。

たいらにならした地面に下穴を開けパイプをたてます。

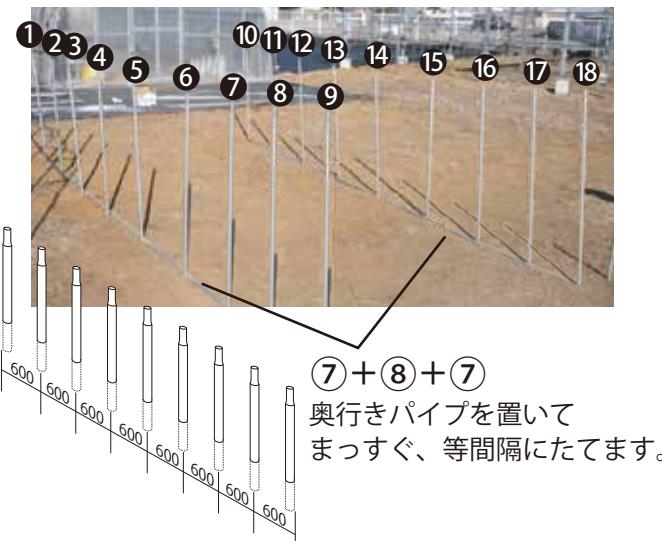


ポイント → パイプの下穴は、まっすぐ等間隔になるように開けてください。

パイプにしるしをつけます。

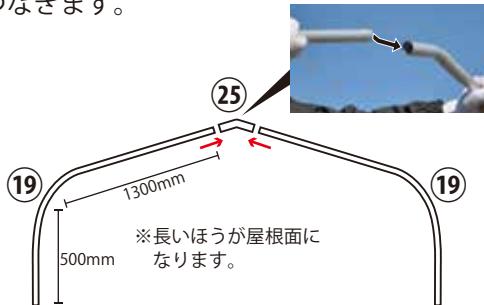


アーチタテパイプ①をたてます。



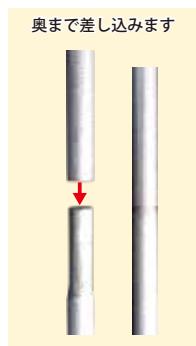
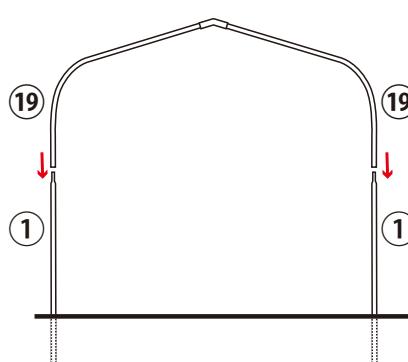
2 アーチパイプを組み立てます。

への字パイプ②でアーチパイプ⑨をつなぎます。



アーチパイプを9本組み立てます。

アーチタテパイプ①にアーチパイプ⑨を差し込みます。



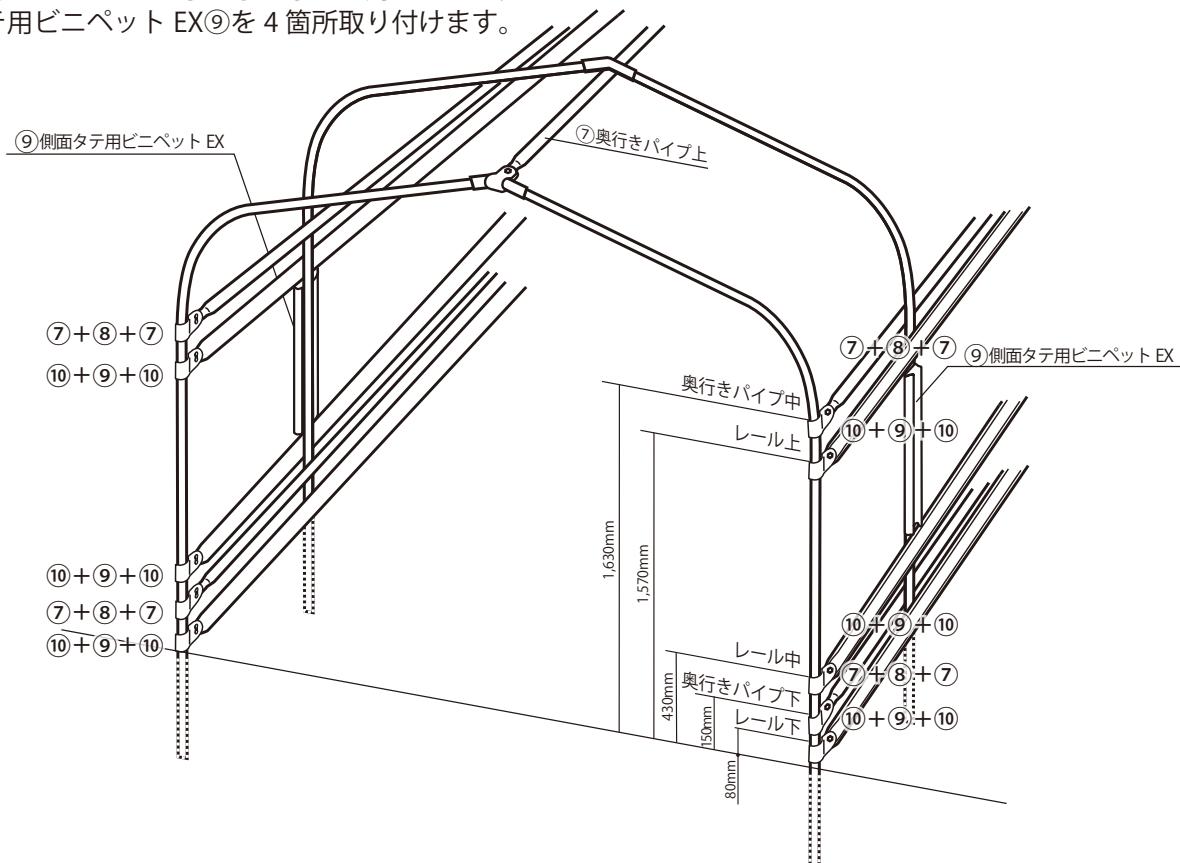
パイプの組み立て

3 奥行きパイプとビニペットEXを取り付けます。

奥行きパイプ⑦+⑧+⑦を5列通します。

奥行き用ビニペットEX⑩+⑨+⑩を6列通します。

側面タテ用ビニペットEX⑨を4箇所取り付けます。



奥行き用ビニペット EX⑩
1,880mm

奥行き中間用ビニペット EX⑨
985mm

奥行き用ビニペット EX⑩
1,880mm

6本作ります。

レール外ジョイント②

【奥行きパイプ上と中】

奥行きパイプ⑦
1,810mm

奥行きパイプ⑧
1,255mm

奥行きパイプ⑦
1,810mm

3本作ります。

向きを揃えてつなげます。

【奥行きパイプ下】

奥行きパイプ⑦
1,810mm

奥行きパイプ⑧
1,255mm

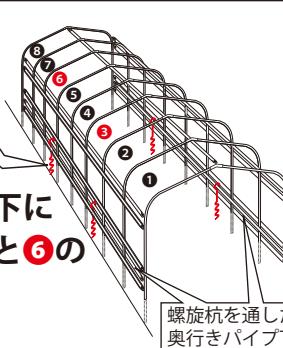
奥行きパイプ⑦
1,810mm

2本作ります。

奥行きパイプ下用には
あらかじめらせん杭を
2個通しておきます。

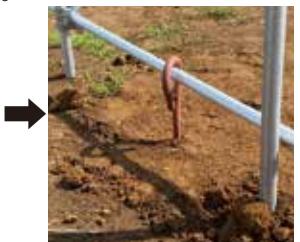
④らせん杭は奥行きパイプ下を
取り付ける際に埋めます。

らせん杭
4個

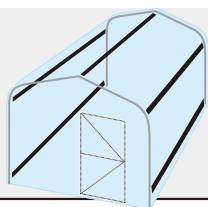


両側面奥行きパイプ下に
通したらせん杭を③と⑥の
位置に埋めます。

地面に深さ約50cmの穴を掘りらせん
杭を設置し、水を掛けながら埋めしつ
かり固めます。



パイプの組み立て



アーチパイプへ取り付けます。

奥行きパイプ



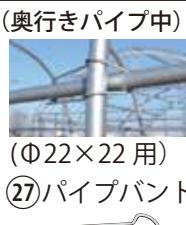
差し込みます。



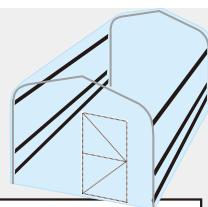
向きを揃えてつなげます。

②⁶ユニバーサル
ジョイント
(Φ22用×8個)奥行きパイプ上に
つけるユニバーサルの
みサイズが違います。
(Φ25用×2個)

(奥行きパイプ中と下)

(奥行きパイプ下)
②⁴カチックス
(Φ22×22用×14個)(奥行きパイプ上)
(Φ22×25用)(奥行きパイプ中)
(Φ22×22用)

14個

②⁷パイプバンド
7個奥行き用
フィルム止めビニペット EX奥行き用
フィルム止めビニペット EX

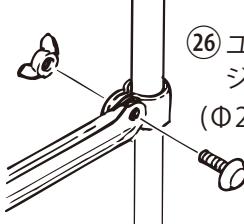
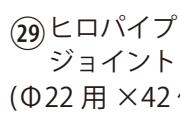
②⁲

ビニペット EX用
外ジョイント 15個

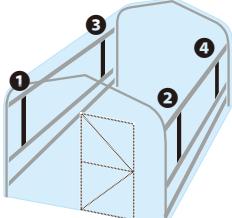
ジョイント

端部

中間アーチ

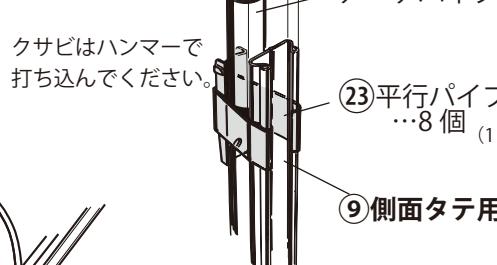
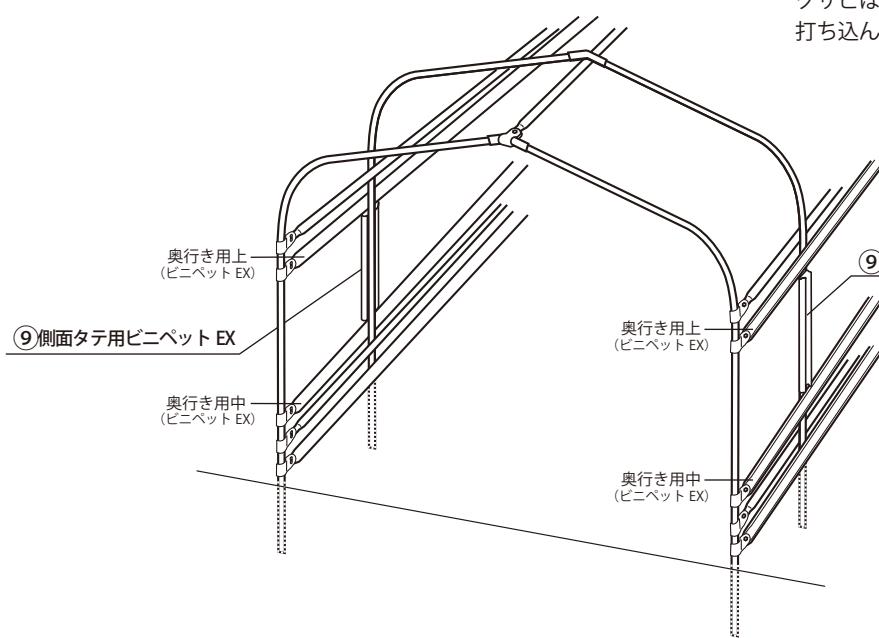
②⁶ユニバーサル
ジョイント
(Φ22用×12個)②⁹ヒロパイプ
ジョイント
(Φ22用×42個)

※5ページのヒロパイプジョイントの止め方をご参照ください。



側面タテ用ビニペット EXを取り付けます。

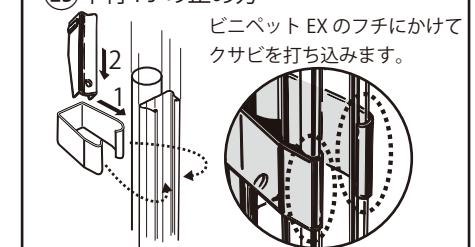
側面タテ用ビニペット EX⑨を4箇所取り付けます。

②³平行パイプジョイントで取り付けます。
(ビニペット EX1本につき上下各1個ずつ)クサビはハンマーで
打ち込んでください。②³平行パイプジョイント
…8個 (1本に2個使用)
⑨側面タテ用ビニペット EX
…4本

⑨側面タテ用ビニペット EX

奥行き用中
(ビニペット EX)奥行き用上
(ビニペット EX)奥行き用上
(ビニペット EX)奥行き用中
(ビニペット EX)奥行き用中
(ビニペット EX)

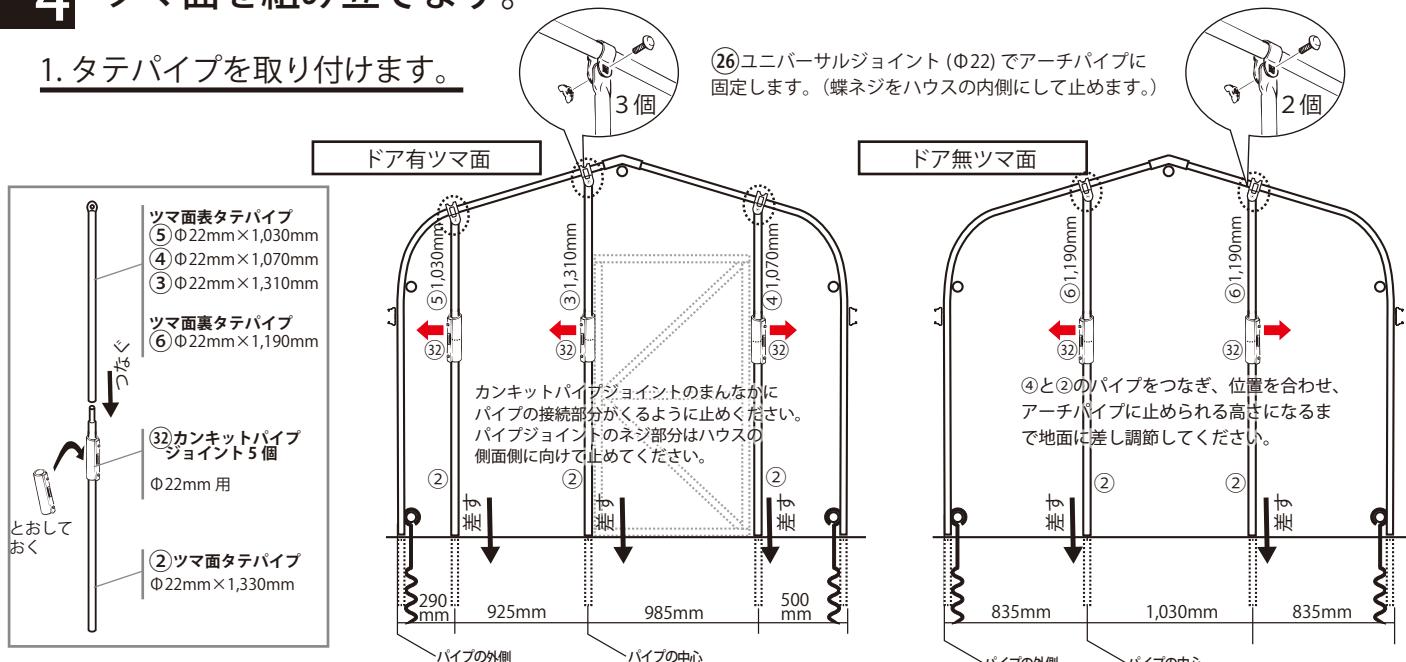
②³平行 PJ の止め方

ビニペット EXのフチにかけて
クサビを打ち込みます。

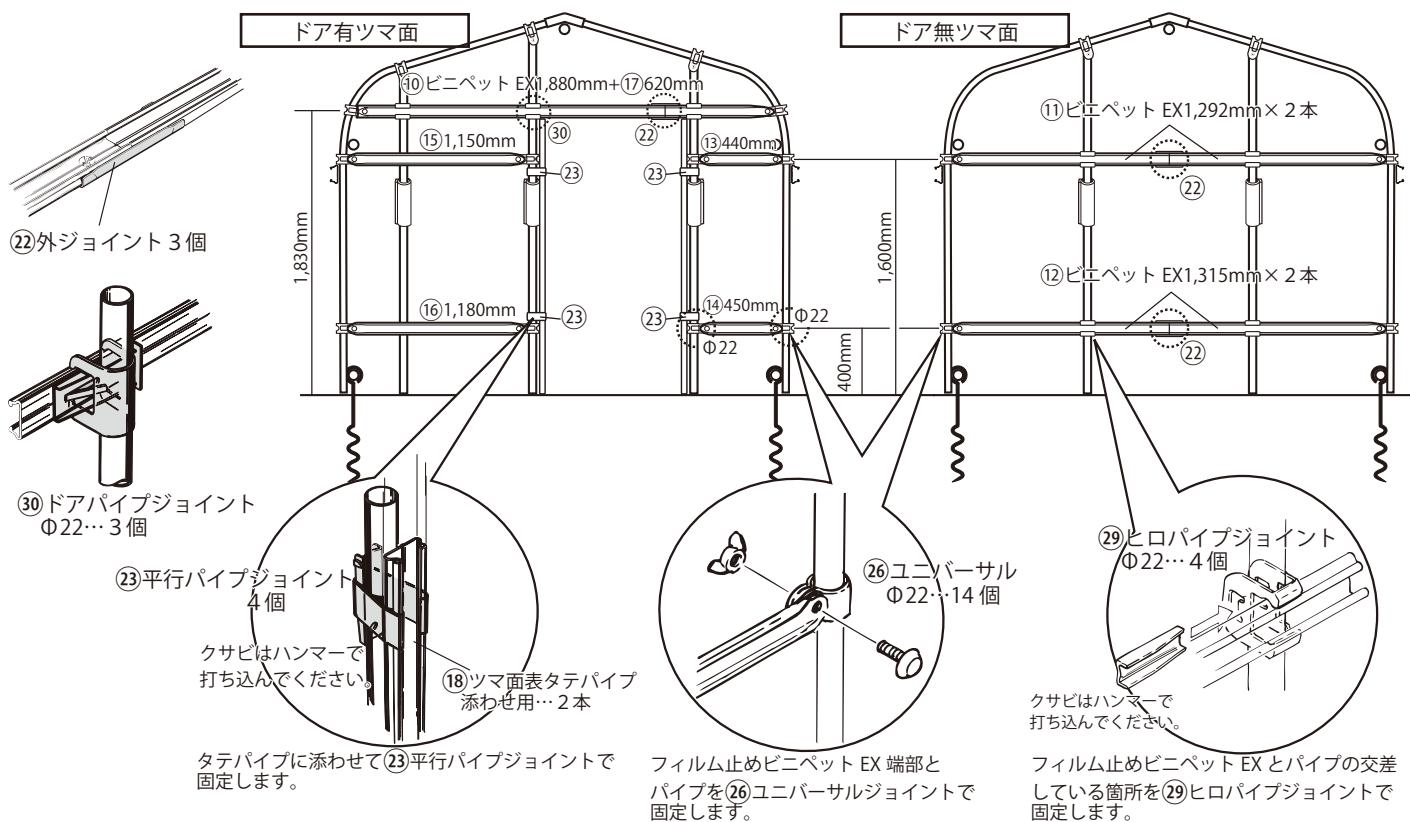
ツマ面の組み立て

4 ツマ面を組み立てます。

1. タテパイプを取り付けます。

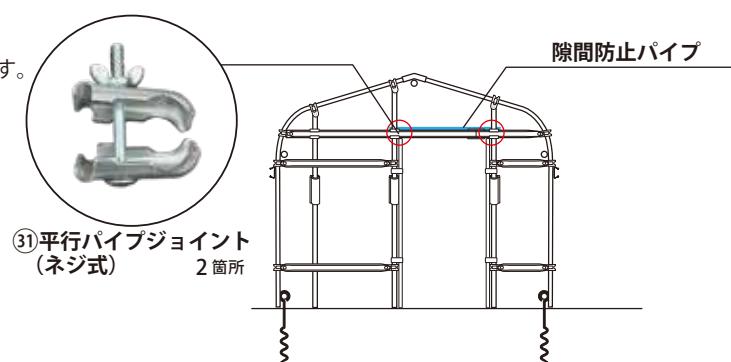


2. フィルム止めビニペット EX を取り付けます。



3. 隙間防止を取り付けます。

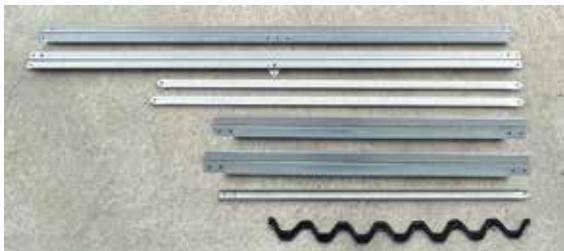
隙間防止パイプ⑪をビニペット EX⑩+⑯に取り付けます。



ME スライドドアの組み立てとフィルム展張

ME スライドドア組み立て部品

【ドア枠】



タテ桟 2 本
ナナメ桟 2 本 (ビニペット EX)
ヨコ桟 (上下) 2 本
ヨコ桟 (中) 1 本 (ビニペット EX)
ヒフクスプリング 12 本

【ドア組み立て用部品】



各 14 個

【ドア取っ手】



M8 ナット

各 2 個

【パイプレール留め金具】



6 個

【ユニバーサルジョイント】

22 用 12 個
19 用 6 個M6 根角ボルト
M6 ナット

【ドア取付部品】

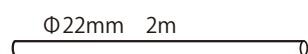


2 個 戸車 2 個



4 個

【パイプレール】



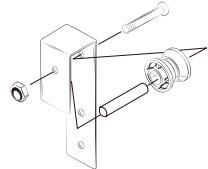
2 本

※ユニバーサルジョイントは、ツマ柱のサイズによって以下の個数を使用しません。
ツマ柱Φ22 の場合 19 用が 6 個 ツマ柱Φ19 の場合 22 用が 6 個

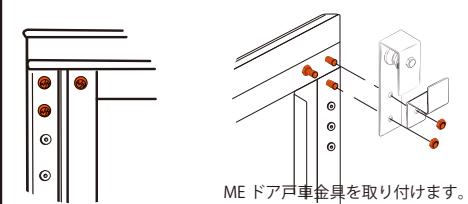
5 ドアを組み立てます。

ドアを M6 根角ボルトと M6 ナットで組み立てます。
ドア枠の上角には ME ドア戸車金具と ME ドア振止金具を取り付けます。
ドア枠の下角には ME ドア振止金具を取り付けます。

ME 戸車金具を組み立てます

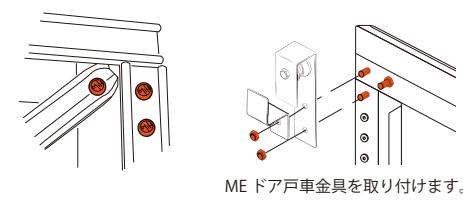


表面 3ヶ所止めます 裏面



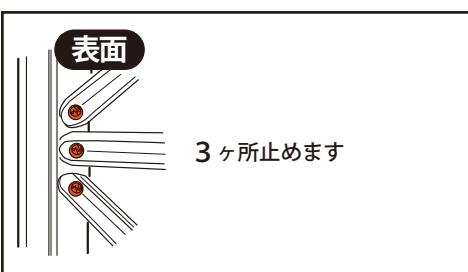
ME ドア戸車金具を取り付けます。

表面 3ヶ所止めます 裏面



ME ドア戸車金具を取り付けます。

表面 3ヶ所止めます



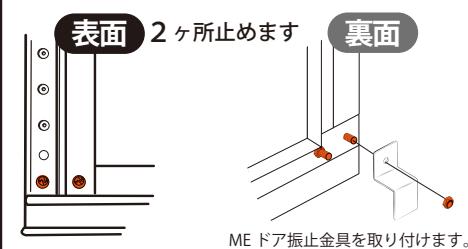
3ヶ所止めます

表面



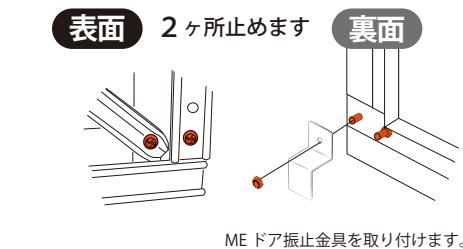
※取手はドア枠にフィルムを展張した後に取り付けます。

表面 2ヶ所止めます 裏面



ME ドア振止金具を取り付けます。

表面

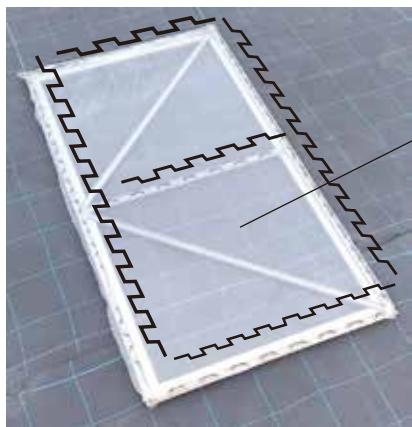


ME ドア振止金具を取り付けます。

ME スライドドアの組み立てとフィルム展張

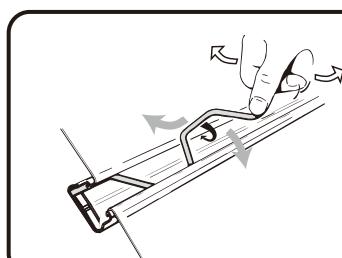
6 フィルムを展張します。

ヒフクスプリングでフィルムを止め、枠の縁に合わせて切り取ります。



③ 135cm×200cm ドア用フィルム

※フィルムには表と裏が有ります。ハウスの外側から
フィルムの文字が読めるように展張してください。

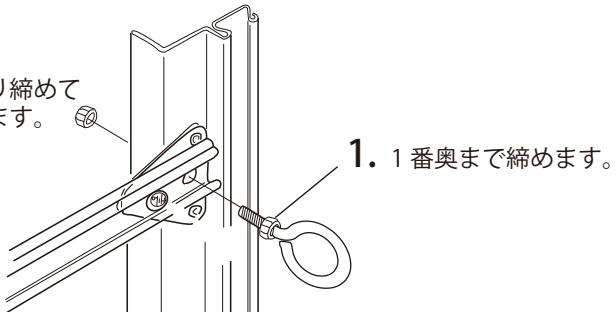


フィルムの止め方

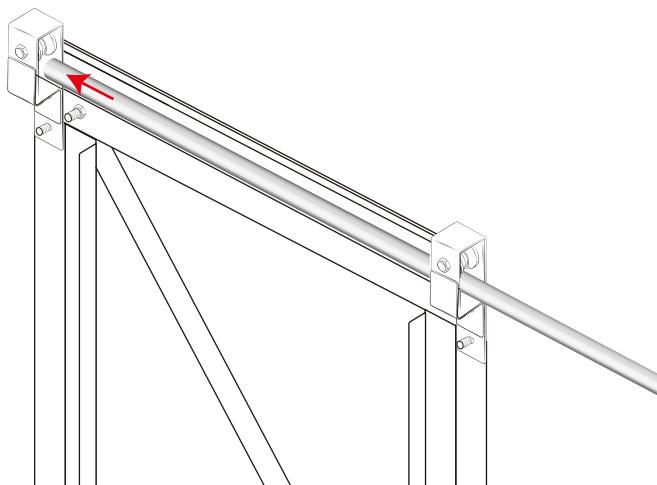
フィルム止めビニペット EX の溝にヒフク
スプリングでフィルムを止めます。
ヒフクスプリングは左右(上下)に軽く
振るように動かして入れていきます。

7 取手を取り付けます。

2. ナットをしっかりと締めて
取手を取り付けます。



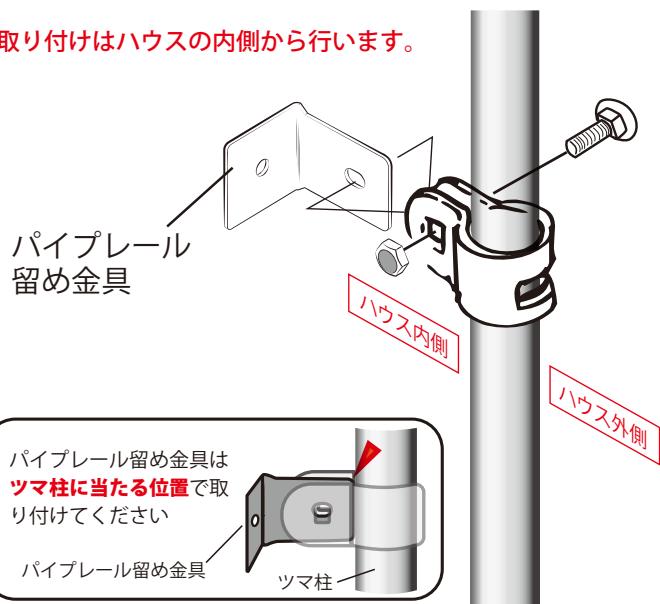
8 パイプレール上をドアの ME 戸車金具に通します。



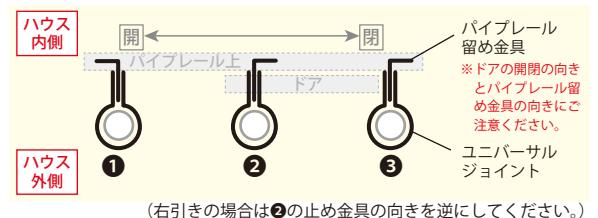
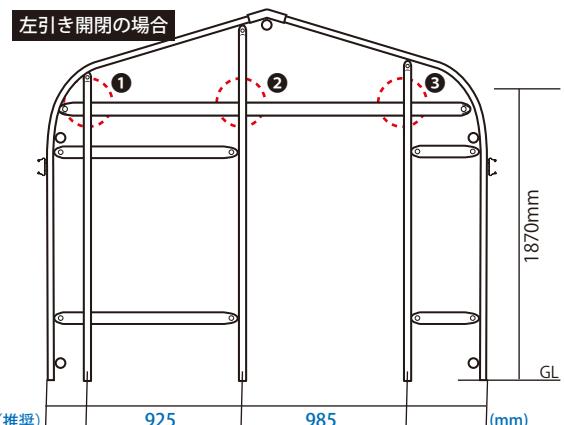
9 パイプレール上金具を取り付けます。

ドアの開閉の向きに合わせてパイプレール留め金具をツマ柱に取り付けてください。

※取り付けはハウスの内側から行います。



パイプレール留め金具は
ツマ柱に当たる位置で取
り付けてください
パイプレール留め金具
ツマ柱



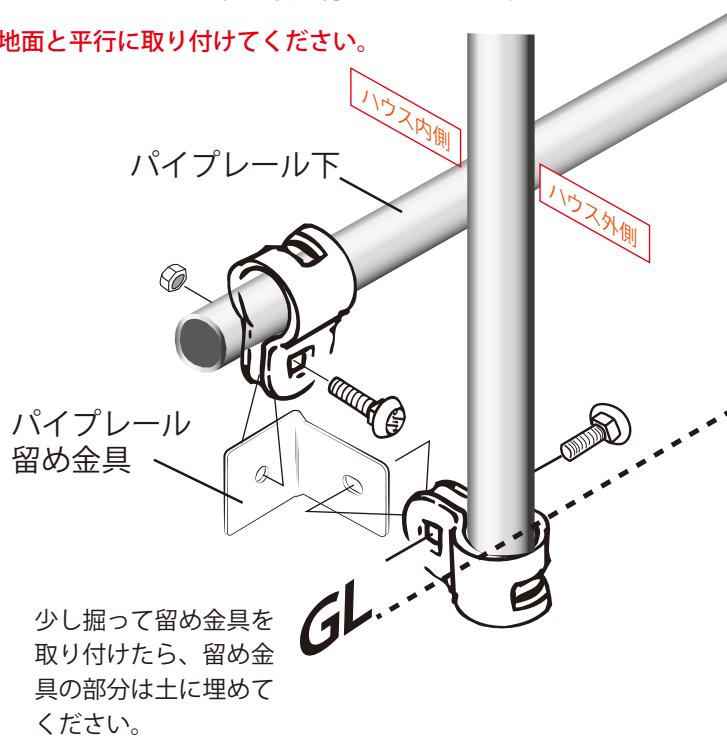
(右引きの場合は②の止め金具の向きを逆にしてください。)

10 パイプレール下を取り付けます。

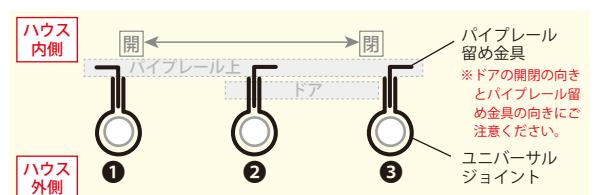
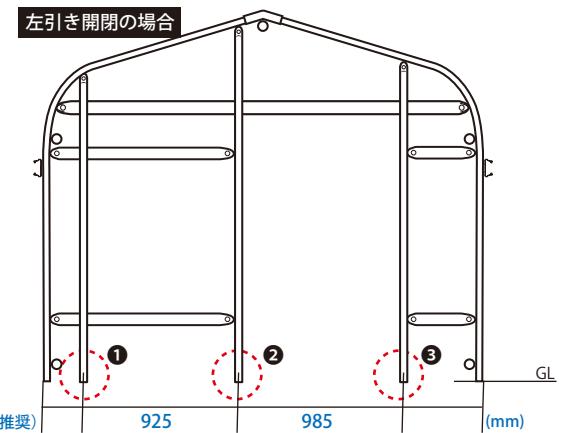
ドアの開閉の向きに合わせてパイプレール留め金具をツマ柱に取り付けてください。

そこにパイプレール下を取り付けてください。

※地面と平行に取り付けてください。



少し掘って留め金具を
取り付けたら、留め金
具の部分は土に埋めて
ください。



(右引きの場合は②の止め金具の向きを逆にしてください。)

※ツマ柱（ドア開口部）の間隔は985mmまで対応です。
※部品を取り付ける前に15cmくらいの深さの穴を掘っておいて
下さい。

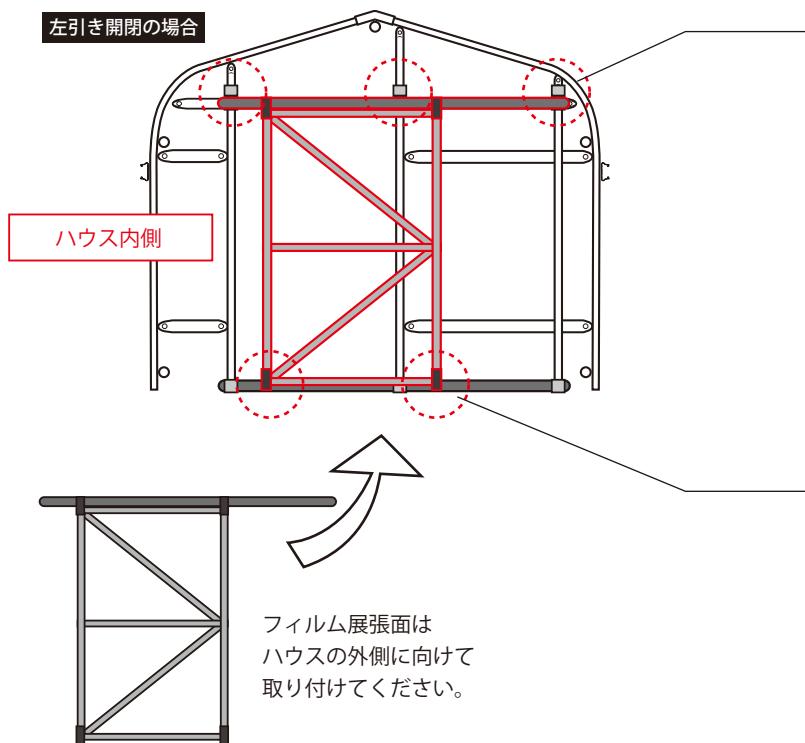
ME スライドドアの取り付け

11 ドアをツマ面に取り付けます。

1. 取り付ける位置を決めます。

8でパイプレールを通したままドアをハウス内側から合わせます。

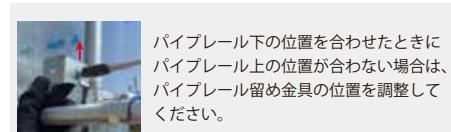
ドア下部の位置を決めたら、ドア上部の位置を決めます。



パイプレール上の位置を合わせます。
パイプレール留め金具とユニバーサルジョイントの穴位置を重ね合わせます。

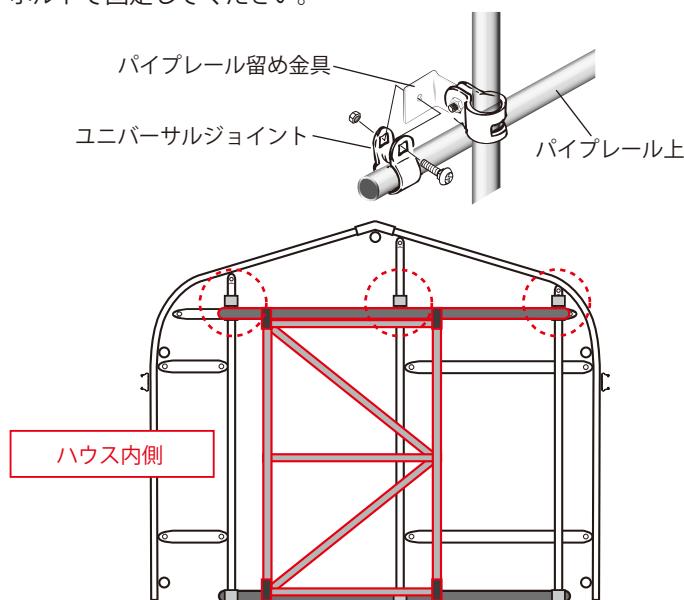


パイプレール下の位置を確認します。
振れ止め金具がパイプレール下にかかるくらいの位置に合わせてください。



2. パイプレール（ドア）を固定します。

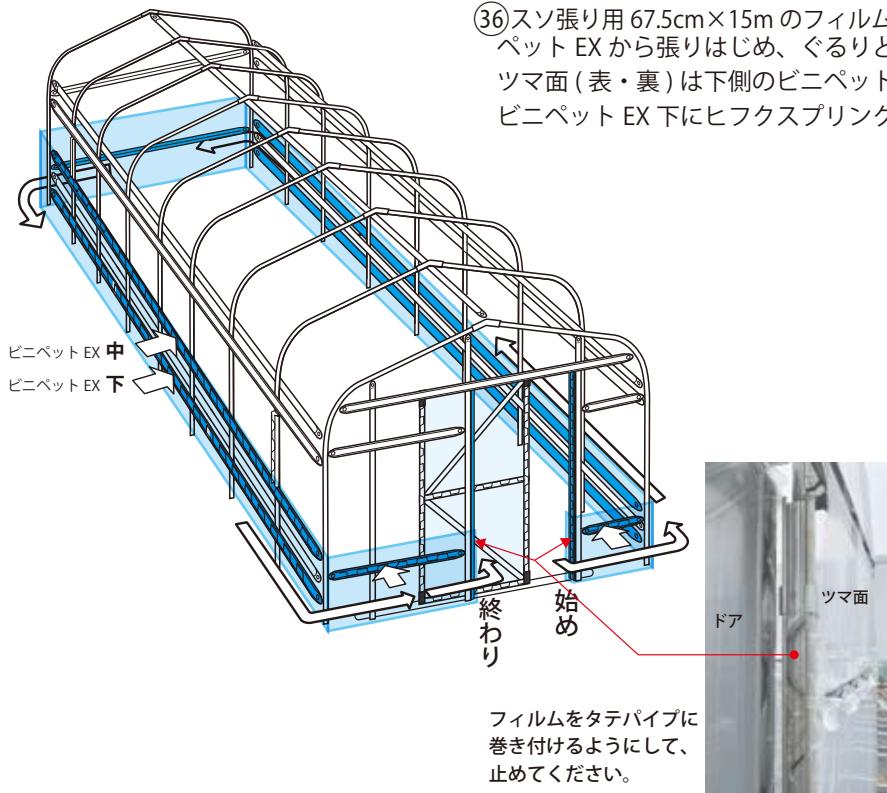
ユニバーサルジョイントでパイプレール止め金具を挟み、ボルトで固定してください。



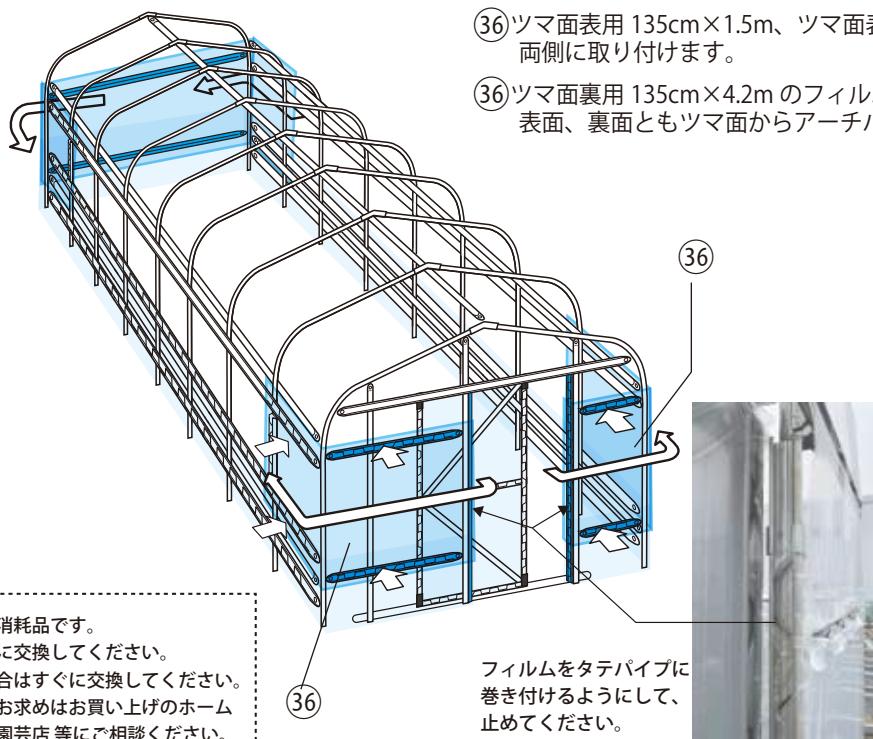
12 フィルムを展張します。

※フィルムには表と裏が有ります。
ハウスの外側からフィルムの文字が読めるように展張してください。

1. スソ張りフィルムを張ります。



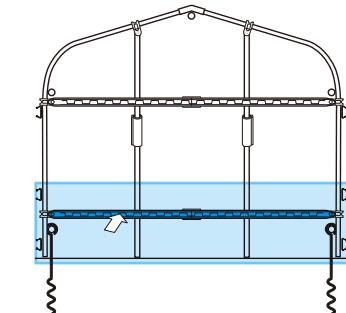
2. ツマ面フィルムを張ります。



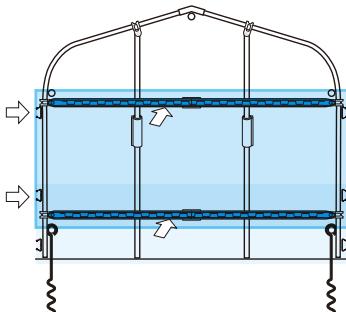
【フィルムの種類】

屋根用 $370\text{cm} \times 480\text{cm}$:1枚(立体加工品)
側面換気用 $150\text{cm} \times 4.8\text{m}$:2枚
ツマ面表用(短) $135\text{cm} \times 1.5\text{m}$:1枚
ツマ面表用(長) $135\text{cm} \times 2.2\text{m}$:1枚
ツマ面裏用 $135\text{cm} \times 4.2\text{m}$:1枚
スソ張り用 $67.5\text{cm} \times 15\text{m}$:1枚
ドア用 $135\text{cm} \times 2\text{m}$:1枚

《ドア無し面》

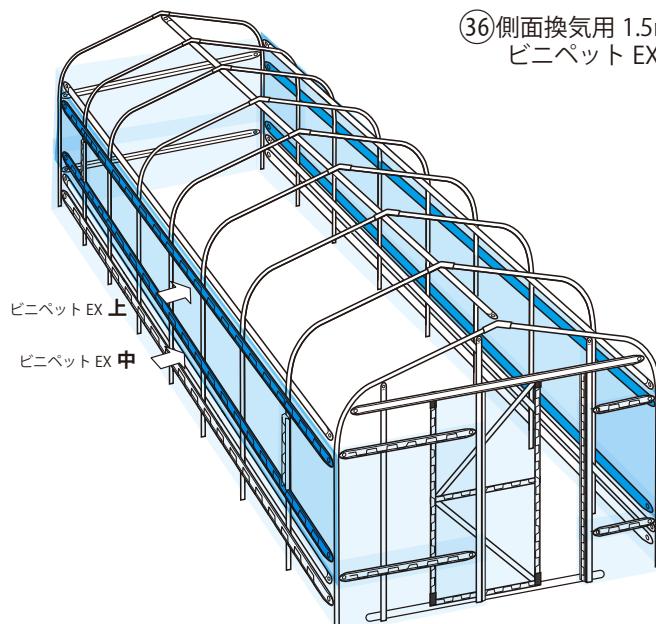


《ドア無し面》



フィルムの展張

3. 側面換気用フィルムを張ります。



⑬側面換気用 1.5m×4.8m のフィルムをハウス両側面に取り付けます。
ビニペット EX 上とビニペット EX 中にヒフクスプリングで止めます。

※側面換気をする場合、換気セット（別売）をご使用ください。

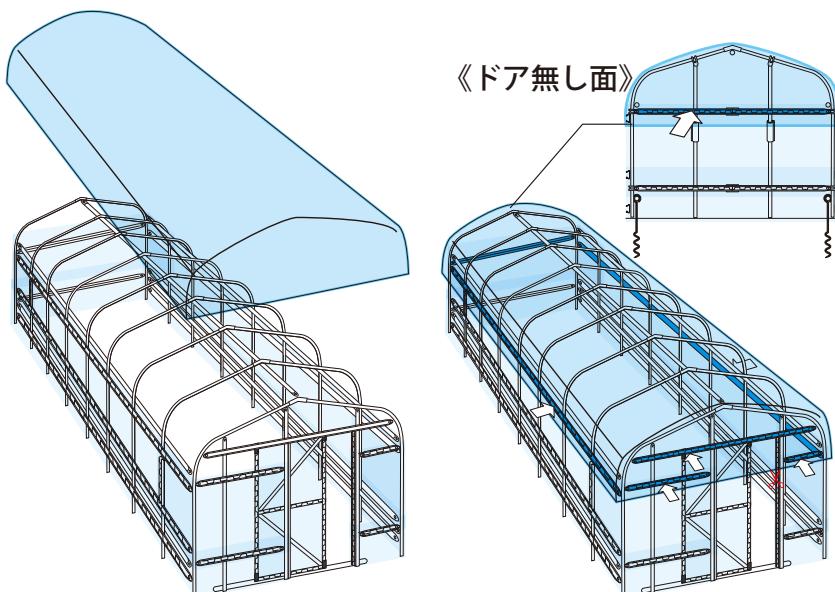
換気セット

マキベット × 2台	ガイドパイプ 1800mm×2本 巻取りパイプ（連結式） スエジパイプ 1800mm×4本 直管パイプ 1350mm×2本 パッカー 22mm用 ×10個 マイカ ×16個 マイカ一線 30m×1巻
------------	---

※防虫ネットを展張する場合は側面用フィルムを展張する前に開口部に展張してください。

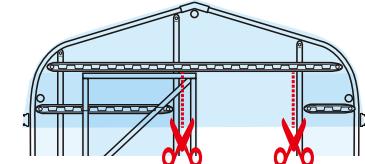
4. 屋根用フィルムを張ります。

⑯屋根用 3.7m×4.8m 立体加工品のフィルムをアーチパイプの上にかぶせ
⑬ヒフクスプリングで止めます。

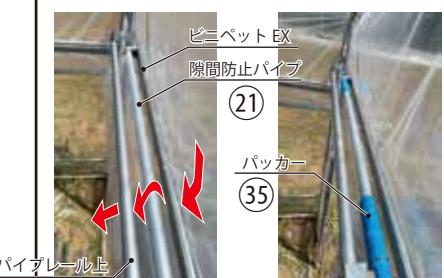


入口部分のフィルムの張り方

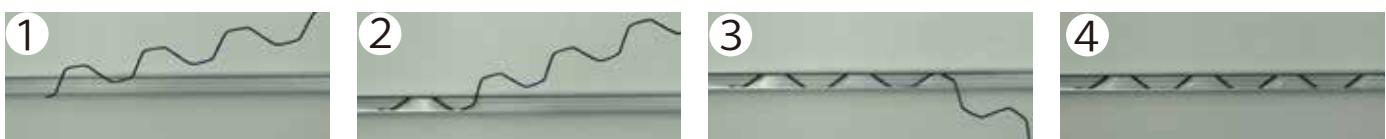
入口部の屋根面用フィルムをカットします。



隙間防止パイプにカットした屋根面用フィルムを巻き付け、パッカーで2箇所止めます。



フィルムの展張方法（スプリングの止め方）



フィルム止めビニペット EX の上に掛けたフィルムを軽く引きながらスプリングで止めます。フィルムに穴をあけないようにゆっくり行ってください。
ドア有ツマ面→ヨコ面→ドア無ツマ面→ヨコ面→ドア有ツマ面の順番にフィルム止めビニペット EX にヒフクスプリングを使い、止めてください。

※スプリングはビニペット EX に最後まで入れて下さい。先端が抜けている場合、強風などで外れることがあります。

ヒロガーデン[®]を 安全に正しくお使いいただくために！

商品を組み立てる前に、本書をよくお読みいただき、十分ご理解のうえ、正しくお使いください。
※この取扱説明書は、お読みになった後も大切に保管してください。

- ◆ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- ◆表示の意味は次のとおりです。



注意

誤った取扱をしたとき、人がケガをしたり、物的損害が想定される内容を示します。



注意

- 取付部品で使用するクサビは、必ず根元までしっかりと打ち込んでください。
- 取付部品で使用するボルトやナットは、緩みがなくなるまでしっかりと締め込んでください。
- 外ジョイントやパイプジョイント等、ジョイント部品は、ビニペットやパイプを奥までしっかりと差し込んでください。
- 作業をする際は、保護帽や軍手を着用してください。ケガをする危険性があります。
また、クサビを外す際は、クサビが飛散する恐れがありますので、まわりに人がいないことを確認してから取り外してください。
- フィルムを止める際は必ず保護眼鏡を装着してください。スプリングの先端でケガをする恐れがあります。
- ハウス本体には乗らないでください。フックバンドや端末フック等、線材製品で組み立てられたパイプハウスは、重さで外れることがあります。
- 風が強い場所や崖など、危険と思われる場所には設置しないでください。
- 台風・強風・降雪などが予想される際には、あらかじめフィルムを外してください。ハウス本体が飛ばされたり、崩壊する可能性があります。
- らせん杭は、パイプに通し、抜けたり緩んだりしないように、土を踏み固めるなどしてしっかりと埋め固めてください。
- 必ず大人2人以上で施工を行ってください。

メンテナンス（保持管理）について

- らせん杭やボルト・ナット、クサビに緩みがないか、定期的に確認してください。
ハウスの強度が落ちたり、壊れる可能性があります。
- フィルムに穴が空いてないか確認してください。穴が空いている場合は補修、または交換をしてください。
フィルムに穴が空いていると風が吹き込み、ハウスが飛ばされる可能性があります。
- 雪が屋根に積もつたら、ハウスに入らないでください。
雪の重さで倒壊する恐れがあります。雪下ろしをしてください。

免責事項

以下の場合、人的また物的損害が発生しても、当社は責任を負うことはできません。あらかじめご了承のうえ、お取り扱いには十分にご注意ください。

- 注意事項が守られなかつたとき
- 取り付けに不備があつたとき
- 使用制限が守られなかつたとき
- 火災、風水害、落雷、及びその他の自然災害によるとき
- 取扱説明書どおりに組み立てを行わなかつたとき